



## 平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年8月7日

上場会社名 京阪電気鉄道株式会社  
 コード番号 9045 URL <http://www.keihan.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 経営統括室 経理担当部長  
 四半期報告書提出予定日 平成24年8月13日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東大

(氏名) 加藤 好文

(氏名) 長濱 哲郎

TEL 06-6944-2527

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	68,039	11.1	7,395	48.1	6,528	56.7	4,047	68.9
24年3月期第1四半期	61,263	2.7	4,994	△5.3	4,165	△6.9	2,396	△6.1

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 2,495百万円 (111.1%) 24年3月期第1四半期 1,182百万円 (△37.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	7.20	—
24年3月期第1四半期	4.26	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第1四半期	631,734	147,059	22.9
24年3月期	642,502	145,788	22.3

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 144,369百万円 24年3月期 143,174百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	2.50	—	2.50	5.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	2.50	—	2.50	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	128,100	4.2	9,200	6.3	6,900	8.6	4,200	6.7	7.47
通期	268,900	1.2	17,600	△3.1	12,200	△10.2	7,400	5.6	13.16

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P.3「会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期1Q	565,913,515 株	24年3月期	565,913,515 株
25年3月期1Q	3,505,305 株	24年3月期	3,505,502 株
25年3月期1Q	562,408,412 株	24年3月期1Q	562,436,165 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、業績予想に関する事項については、添付資料P.3「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(5) セグメント情報等	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間のわが国経済は、東日本大震災からの復興需要等を背景に生産活動や個人消費が緩やかに回復する一方、欧州債務問題や円高などの影響で、先行き不透明な状況が続いております。

このような経済情勢のもとにおきまして、当社グループでは、各事業にわたり積極的な営業活動をおこない、業績の向上に努めました結果、当第1四半期連結累計期間の営業収益は680億3千9百万円（前年同期比67億7千6百万円、11.1%増）、営業利益は73億9千5百万円（前年同期比24億円、48.1%増）となり、これに営業外損益を加減した経常利益は65億2千8百万円（前年同期比23億6千2百万円、56.7%増）となりました。さらに、これに特別損益を加減し、法人税等を控除した四半期純利益は40億4千7百万円と、前年同期に比較して16億5千1百万円（68.9%）の増益となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

## 当第1四半期連結累計期間のセグメント別の状況

	営業収益			営業利益		
	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減率	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減率
	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
運輸業	23,235	23,589	1.5	2,401	2,870	19.5
不動産業	11,380	17,048	49.8	2,148	3,661	70.4
流通業	23,558	23,438	△0.5	506	556	9.7
レジャー・サービス業	5,551	6,480	16.7	△49	270	—
その他の事業	325	384	18.2	△38	16	—
計	64,050	70,941	10.8	4,968	7,373	48.4
消 去	△2,787	△2,902	—	26	21	—
連 結	61,263	68,039	11.1	4,994	7,395	48.1

## ①運輸業

鉄道事業における当第1四半期連結累計期間の当社の運輸成績は、総旅客数は7,232万人と、前年同期に比較して36万人（0.5%）の増加となり、これに伴い、当社の旅客運輸収入は126億円（前年同期比0.3%増）、これに運輸雑収を加えた鉄軌道事業営業収益は133億5千3百万円と、前年同期に比較して2千9百万円（0.2%）の増収となりました。

これらの結果、運輸業全体の営業収益は235億8千9百万円と、前年同期に比較して3億5千3百万円（1.5%）の増収となり、営業利益は28億7千万円と、前年同期に比較して4億6千8百万円（19.5%）の増益となりました。

## ②不動産業

不動産販売業におきましては、「京阪東ローズタウン」「ローズプレイス京阪宇治」「ローズヴィレッジくずはⅡ」などの土地建物を販売いたしました。また、マンションでは、「ファインフラッツ樟葉 ザ・レジデンス」「グランファースト千里桃山台」「ラ・ブリース京阪牧野」などを販売いたしました。

不動産賃貸業におきましては、前連結会計年度に取得した賃貸ビル「永新ビル」「みかみビル」「虎ノ門5森ビル」や、株式取得により連結子会社としたイースタン興業(株)が通期で寄与いたしました。また、既存の賃貸ビルにおいても稼働率向上に努めました。

なお、非連結子会社であった京阪カインド(株)は重要性が増したため、当第1四半期連結累計期間より連結の範囲に含めております。

これらの結果、不動産業全体の営業収益は170億4千8百万円と、前年同期に比較して56億6千8百万円（49.8%）の増収となり、営業利益は36億6千1百万円と、前年同期に比較して15億1千2百万円（70.4%）の増益となりました。

## ③流通業

流通業におきましては、各事業において積極的な営業活動に努めましたが、KUZUHA MALL第2期開発計画に伴い、店舗の一部を閉鎖した影響などにより、流通業全体の営業収益は234億3千8百万円と、前年同期に比較して1億1千9百万円（0.5%）の減収となりました。一方、経費の減少などにより、営業利益は5億5千6百万円と、前年同期に比較して4千9百万円（9.7%）の増益となりました。

## ④ レジャー・サービス業

ホテル事業におきましては、前連結会計年度に株式取得により連結子会社とした(株)京都センチュリーホテルが通期で寄与いたしましたほか、既存の店舗においても積極的な営業活動を展開し、稼働率の向上及び収益力の強化に努めました。

これらの結果、レジャー・サービス業全体の営業収益は64億8千万円と、前年同期に比較して9億2千9百万円(16.7%)の増収となり、営業利益は2億7千万円と、前年同期に比較して3億2千万円の改善となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末より107億6千8百万円(1.7%)減少し、6,317億3千4百万円となりました。これは、受取手形及び売掛金が72億4千6百万円、投資有価証券が24億4千7百万円減少したことなどによるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末より120億3千9百万円(2.4%)減少し、4,846億7千5百万円となりました。これは、短期借入金が51億4千7百万円、長期借入金が40億6千4百万円、前受金が15億3千7百万円減少したことなどによるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末より12億7千万円(0.9%)増加し、1,470億5千9百万円となりました。これは、利益剰余金が28億5千5百万円増加し、その他有価証券評価差額金が16億6千万円減少したことなどによるものであります。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後のわが国経済は、欧州債務問題や電力供給の制約も懸念されるなど、依然として厳しい状態が続くと予想されますが、第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想は前回公表予想並に推移していく見込みであります。したがって、現時点において、当第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想は前回公表数値(平成24年5月9日)から変更しておりません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計方針の変更  
(減価償却方法の変更)

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、この変更による損益への影響は軽微であります。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	18,626	18,400
受取手形及び売掛金	25,845	18,598
有価証券	560	277
販売土地及び建物	81,055	80,065
商品	1,816	1,783
繰延税金資産	2,329	2,810
その他	7,148	7,562
貸倒引当金	△316	△271
流動資産合計	137,064	129,227
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	185,268	184,216
機械装置及び運搬具（純額）	11,628	12,182
土地	221,993	222,354
建設仮勘定	22,684	22,096
その他（純額）	8,303	8,217
有形固定資産合計	449,878	449,067
無形固定資産	8,370	8,497
投資その他の資産		
投資有価証券	32,149	29,701
長期貸付金	644	380
繰延税金資産	4,840	5,406
その他	9,639	9,505
貸倒引当金	△85	△52
投資その他の資産合計	47,188	44,941
固定資産合計	505,438	502,507
資産合計	642,502	631,734

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,295	10,197
短期借入金	107,000	101,853
1年以内償還社債	420	420
未払法人税等	2,489	2,768
繰延税金負債	2	2
前受金	22,066	20,528
賞与引当金	2,611	1,312
商品券等引換損失引当金	309	316
その他	39,752	39,639
流動負債合計	184,947	177,038
固定負債		
社債	81,363	81,278
長期借入金	140,450	136,385
長期未払金	5,611	5,613
繰延税金負債	8,442	8,474
再評価に係る繰延税金負債	36,203	36,203
退職給付引当金	14,855	14,705
役員退職慰労引当金	582	573
その他	24,257	24,400
固定負債合計	311,767	307,636
負債合計	496,714	484,675
純資産の部		
株主資本		
資本金	51,466	51,466
資本剰余金	28,818	28,818
利益剰余金	28,752	31,608
自己株式	△1,357	△1,357
株主資本合計	107,680	110,536
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,624	2,964
土地再評価差額金	30,869	30,869
その他の包括利益累計額合計	35,493	33,833
少数株主持分	2,613	2,689
純資産合計	145,788	147,059
負債純資産合計	642,502	631,734

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月 1日 至 平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月 1日 至 平成24年6月30日)
営業収益	61,263	68,039
営業費		
運輸業等営業費及び売上原価	50,271	54,372
販売費及び一般管理費	5,997	6,272
営業費合計	56,268	60,644
営業利益	4,994	7,395
営業外収益		
受取利息	5	4
受取配当金	287	266
雑収入	310	217
営業外収益合計	602	488
営業外費用		
支払利息	1,268	1,217
持分法による投資損失	5	3
雑支出	157	133
営業外費用合計	1,431	1,355
経常利益	4,165	6,528
特別利益		
工事負担金等受入額	534	39
補助金	157	171
固定資産売却益	1	—
特別利益合計	693	211
特別損失		
固定資産圧縮損	481	54
固定資産除却損	9	24
減損損失	—	5
投資有価証券評価損	29	—
特別退職金	10	—
特別損失合計	530	84
税金等調整前四半期純利益	4,328	6,655
法人税、住民税及び事業税	2,194	2,851
法人税等調整額	△359	△356
法人税等合計	1,834	2,494
少数株主損益調整前四半期純利益	2,494	4,160
少数株主利益	97	113
四半期純利益	2,396	4,047



(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月 1日 至 平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月 1日 至 平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,494	4,160
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,311	△1,664
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	△0
その他の包括利益合計	△1,312	△1,665
四半期包括利益	1,182	2,495
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,086	2,387
少数株主に係る四半期包括利益	95	108

## (3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

## (5) セグメント情報等

## 【セグメント情報】

## I 前第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	運輸業	不動産業	流通業	レジャー・サービス業	その他の事業	合計	調整額(注)1	四半期連結損益計算書計上額(注)2
売上高								
外部顧客への売上高	22,649	9,352	23,497	5,542	220	61,263	—	61,263
セグメント間の内部売上高又は振替高	586	2,027	60	8	104	2,787	(2,787)	—
計	23,235	11,380	23,558	5,551	325	64,050	(2,787)	61,263
セグメント利益又は損失(△)	2,401	2,148	506	△49	△38	4,968	26	4,994

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	運輸業	不動産業	流通業	レジャー・サービス業	その他の事業	合計	調整額(注)1	四半期連結損益計算書計上額(注)2
売上高								
外部顧客への売上高	22,942	15,017	23,366	6,472	240	68,039	—	68,039
セグメント間の内部売上高又は振替高	646	2,031	72	8	143	2,902	(2,902)	—
計	23,589	17,048	23,438	6,480	384	70,941	(2,902)	68,039
セグメント利益	2,870	3,661	556	270	16	7,373	21	7,395

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。